

## 15. 三原市最高峰

## 宇根山 (698.5m)

三原市久井／世羅郡世羅町



三原市の北東、世羅町と久井町の境にある山。麓にキャンプ場、中途に天文台、頂上には真言宗のお寺があり、弘法大師信仰盛んだった様子が伺える。

三原市	2017,5,1 推定
<面積>	471.55km <sup>2</sup>
<人口>	94,465人
<人口密度>	200人/km <sup>2</sup>

【山行日】5月9日(火) 天候：小雨のち曇り

【参加者】8名 CL若木一之 SL宮木一民

三浦 坂井 松本 若林 原田 新江

【コースタイム】広島9:00⇒家族旅行村(10:40)⇒宇根山山頂(10:55)⇒家族旅行村11:15(昼食)12:20⇒久井の岩塊(12:30)⇒広島着(15:40)

### 【報告】

乗用車2台に分乗して出発。少し雨が降っていて心配だったが三原久井ICあたりで傘はいらないくらいの小雨になった。下見をしていたのに3回も道を間違えてUターンしてしまった(反省)。

シーズンオフで閑散とした家族旅行村に車を預けて、荷物などすべて置いて出発。頂上までの約700mの車道を15分かけてゆっくり登った。途中に立派な天体望遠鏡を備えた宇根山天文台がある。この天文台は土日祝日のみ開いている。

頂上には「至幸院」と言うお寺があり、高さ5.2mの立派な弘法大師の銅像が建っている。銅像のすぐ後ろにある三角点付近は現在工事中で重機がうなりをあげていた。



早々に山を下り家族旅行村のキャンプ場でラーメンを炊いて昼食とした。

国の天然記念物「久井の岩海」に立ち寄って帰った。往復の歩行時間30分の何とものんびりした山行だった。(記 若木一之)

### 至幸院

弘法大師(空海)が滞在、修業したそう。



## 国の天然記念物 久井の岩海

昭和39（1964）年、国の天然記念物に指定された久井岩海は、備南最高峰、宇根山（標高699m）のふもと（標高480m～530m）にあり「ごうろ」とも呼ばれています。ゆるい谷にそって直径1m～7mの巨岩・怪石が特異な景観をなしており、岩に耳を当てれば、地下に流水の音。久井岩海は静寂の中で、人々にやすらぎを与えるまさに自然のオアシスです。

～三原市 HP より～

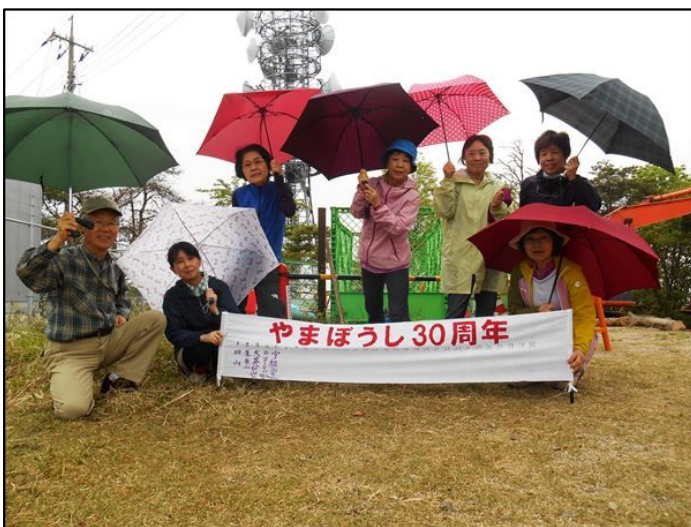


### どうしてこんな岩海ができたの？

基盤の岩石に霜の作用ではなく離してできた方状の割れ目から空気や水が入り、その作用により周辺が風化して岩塊ができました。そして、長期間にわたって豪雨のたびに土砂が洗い流され、地表部の玉石が重なりあってゆるい傾斜の谷に残ってできました。

～三原市教育委員会HPより

### 三原市最高峰 宇根山山頂で 傘をかざして！



工事中で  
三角点は  
囲いの中

### 今までやまぼうしで登った三原市の

#### 他の山

筆影山 葉田竜王山 大平山  
大峰山（高羽山） 米田山  
鉢ヶ峰 白滝山